

決算補足説明資料

2015年度 第2四半期決算

2015年10月30日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード: 4508



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2015年度第2四半期 決算の概要	
	1. 2015年度第2四半期 業績サマリー 2. 2015年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
2	2015年度第2四半期 連結決算について	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績 ② 売上原価／販売費及び一般管理費	3
	③ 営業外損益 ④ 特別損益 ⑤ 法人税等	4
	⑥ 主要製品売上高	5
	2. 財務状況	6
	① 資産・負債・純資産の状況	6
	② キャッシュ・フロー計算書	7
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費	8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	8
3	2015年度 業績予想について	
	① 損益予想 ② 売上原価／販売費及び一般管理費予想	9
	③ 主要製品売上高予想	10
	④ 設備投資／情報システム開発投資予想 ⑤ 減価償却費予想	11
4	5か年連結財務数値	
	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上高	14
6	新製品開発状況について(2015年10月30日現在)	
	1. 新規薬剤	15
	2. 効能追加	16
	3. 導出品	17
	4. 2015年度第1四半期決算発表時点(2015年7月31日)からの変更点	18
	① 自社開発品 ② 導出品	18
	5. 新製品開発状況補足資料(2015年10月30日現在)	19
	① 新規薬剤 ② 効能追加	19
	③ 導出品	20
7	その他	
	1. 関係会社	21
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用関連会社一覧	21
	2. 株式の状況	22
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	
	④ 配当金／株価推移	22
	参考	
	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	23

1 2015年度第2四半期 決算の概要

(億円未満四捨五入)

1. 2015年度第2四半期 業績サマリー

売上高	2,017 億円	前年同期比	28 億円	1.4 %
○国内	1,509 億円	前年同期比	△ 141 億円	△ 8.6 %
○海外	509 億円	前年同期比	170 億円	50.2 %

売上高は前年同期比+1.4%、28億円増収の2,017億円となりました。

国内医療用医薬品は、血漿分画製剤の販売提携が2015年3月末をもって終了した影響などにより、前年同期比5.1%減収の1,473億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」、ヤンセンファーマシューティカルズに導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメホルミン(即放性)の合剤に係るロイヤリティ収入等の増加により、前年同期比32.1%増収の368億円となりました。

営業利益	435 億円	前年同期比	86 億円	24.5 %
------	--------	-------	-------	--------

営業利益は前年同期比+24.5%、86億円増益の435億円となりました。

売上原価率は、血漿分画製剤の販売提携終了やロイヤリティ収入等の伸長などにより、前年同期比3.0ポイント低下し、36.3%となりました。これに伴い、売上総利益は前年同期比79億円増益の1,286億円となりました。

販売費及び一般管理費は、研究開発費が増加したものの、販売促進費が減少したことなどにより、前年同期比7億円減少し、850億円となりました。なお、研究開発費は333億円、売上高に対する割合は16.5%となりました。

経常利益	433 億円	前年同期比	79 億円	22.2 %
------	--------	-------	-------	--------

親会社株主に帰属する 四半期純利益	291 億円	前年同期比	△ 34 億円	△ 10.4 %
----------------------	--------	-------	---------	----------

経常利益は前年同期比+22.2%、79億円増益の433億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比△10.4%、34億円減益の291億円となりました。

営業外損益は為替差損が7億円発生したことなどにより、前年同期比7億円悪化しました。

特別利益は固定資産売却益、投資有価証券売却益により5億円となりました。なお、前年同期は136億円で主に固定資産売却益、投資有価証券売却益によるものです。

特別損失は減損損失により7億円となりました。なお、前年同期は27億円で主に関係会社整理損、減損損失によるものです。

2. 2015年度 業績予想サマリー

売上高	4,180 億円	前期比	29 億円	0.7 %
営業利益	820 億円	前期比	149 億円	22.1 %
経常利益	810 億円	前期比	133 億円	19.7 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	460 億円	前期比	65 億円	16.4 %

3. 配当金

	2015年度		2014年度	
	上期末	年間(予想)	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	22	44	20	42
配当性向	-	53.7%	-	59.6%
(のれん償却前)	(-)	(44.1%)	(-)	(47.6%)

1. 損益状況

① 損益実績

(単位: 億円)

	2015年度上期	前年同期比較			当初予想との比較			主なポイント(前年同期比較)
		2014年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注)	増減額	増減率%	
売上高	2,017	1,989	28	1.4	1,915	102	5.3	P5「⑥ 主要製品売上高」参照 海外売上高比率 2014年度上期:17.0% 2015年度上期:25.2% 平均為替レート 2014年度上期:1USD=103.61円 2015年度上期:1USD=121.73円
国内	1,509	1,650	△ 141	△ 8.6	1,443	66	4.5	
海外	509	339	170	50.2	472	37	7.8	
売上原価	732	782	△ 50	△ 6.4	705	27	3.8	血漿分画製剤の販売提携終了、ロイヤリティ収入等の増収などにより売上原価率が改善
売上原価率	36.3%	39.3%			36.8%			
売上総利益	1,286	1,207	79	6.5	1,210	76	6.2	
販管費	850	858	△ 7	△ 0.8	930	△ 80	△ 8.6	
販管費比率	42.2%	43.1%			48.6%			
営業利益	435	350	86	24.5	280	155	55.4	
経常利益	433	355	79	22.2	280	153	54.7	
特別損益	△ 2	109	△ 111	-	-	△ 2	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	291	325	△ 34	△ 10.4	190	101	53.4	

② 売上原価／販売費及び一般管理費

(単位: 億円)

	2015年度上期	前年同期比較			当初予想との比較			主なポイント(前年同期比較)
		2014年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注)	増減額	増減率%	
売上原価	732	782	△ 50	△ 6.4	705	27	3.8	
比率	36.3%	39.3%			36.8%			
販管費	850	858	△ 7	△ 0.8	930	△ 80	△ 8.6	
比率	42.2%	43.1%			48.6%			
研究開発費	333	319	13	4.2	395	△ 62	△ 15.8	
比率	16.5%	16.1%			20.6%			
研究開発費以外	518	538	△ 20	△ 3.8	535	△ 17	△ 3.2	
人件費	230	230	0	△ 0.1	230	0	0.0	
のれん償却額	53	54	△ 1	△ 2.5	53	0	△ 0.8	
その他	235	254	△ 19	△ 7.4	252	△ 17	△ 6.7	
総人件費	386	398	△ 12	△ 3.1	382	4	1.1	

(注) 2015年5月8日 2014年度決算発表時に公表した予想数値

当社は、2015年9月30日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表し、2015年度第2四半期および通期連結業績予想数値を修正しました。修正後の第2四半期業績予想数値は、売上高2,000億円(当初予想比+85億円)、営業利益385億円(同+105億円)、経常利益380億円(同+100億円)、親会社株主に帰属する四半期純利益255億円(同+65億円)となっております。修正後の通期業績予想数値につきましては、本資料9ページをご覧ください。

③ 営業外損益

(単位:億円)

	2015年度上期	2014年度上期	増減額	主なポイント
営業外収益	20	18	2	
受取利息	8	8	1	
受取配当金	6	4	2	
その他	5	6	△ 1	
営業外費用	22	13	9	
支払利息	1	1	0	
寄付金	4	3	1	
為替差損	7	-	7	
その他	10	8	2	

④ 特別損益

(単位:億円)

	2015年度上期	2014年度上期	増減額	主なポイント
特別利益	5	136	△ 131	
固定資産売却益	3	119	△ 117	当期)平野町1号ビル 前期)旧日本橋ビル跡地売却益
投資有価証券売却益	2	11	△ 8	
関係会社株式売却益	-	6	△ 6	前期)エービーアイコーポレーション、シミックCMO足利の株式売却益
特別損失	7	27	△ 20	
減損損失	7	9	△ 2	当期)加島事業所研究2号館 前期)戸田寮ほか
関係会社整理損	-	14	△ 14	前期)三菱製薬(広州)事業撤退に伴う損失
投資有価証券評価損	-	1	△ 1	
その他	-	2	△ 2	

⑤ 法人税等

(単位:億円)

	2015年度上期	2014年度上期	増減額	主なポイント
税金等調整前四半期純利益	431	464	△ 32	
法人税、住民税 及び事業税	130	161	△ 31	
法人税等調整額	20	△ 15	34	
四半期純利益	281	318	△ 36	
非支配株主に帰属する四半期 純利益又は非支配株主に 帰属する四半期純損失(△)	△ 10	△ 8	△ 2	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	291	325	△ 34	

⑥ 主要製品売上高

(単位:億円)

	2015年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2014年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,994	1,965	30	1.5	1,892	102	5.4
国内医療用医薬品	1,473	1,552	△ 79	△ 5.1	1,408	65	4.6
レミケード	345	352	△ 7	△ 2.1	356	△ 11	△ 3.1
タリオン	64	61	4	5.8	64	0	0.5
セレジスト	74	79	△ 5	△ 6.6	71	3	3.9
メインテート	69	72	△ 2	△ 3.1	66	3	5.0
シンボニー	62	50	11	22.5	62	0	△ 0.5
テネリア(旧スキーム)(注2)	37	27	11	40.2	45	△ 8	△ 16.9
テネリア(新スキーム)(注2)	29	非開示	-	-	非開示	-	-
レクサプロ	44	34	10	28.5	41	3	7.0
クレメジン	48	54	△ 6	△ 11.1	48	0	0.4
ウルソ	44	51	△ 7	△ 13.4	46	△ 2	△ 4.3
デバス	37	41	△ 4	△ 9.2	34	3	9.3
アンブラーグ	35	44	△ 9	△ 20.4	30	5	15.5
ラジカット	34	38	△ 4	△ 9.7	29	5	18.2
ワクチン	145	111	34	30.6	106	39	36.8
インフルエンザ	28	9	19	212.7	6	22	362.3
テトラビック	37	36	1	2.5	34	3	7.5
水痘ワクチン	33	19	14	73.0	23	10	44.8
田辺製薬販売取扱品(注3)	66	64	2	2.6	69	△ 3	△ 4.2
海外医療用医薬品	143	113	29	25.8	134	9	6.4
ヘルベッサー	31	35	△ 4	△ 10.4	34	△ 3	△ 8.7
アルガトロバン(ノバスタン)	16	13	3	25.2	10	6	57.3
タナトリル	8	10	△ 2	△ 18.5	8	0	4.9
製造受託品(注4)	11	21	△ 10	△ 49.4	11	0	△ 4.3
ロイヤリティ収入等	368	279	89	32.1	339	29	8.5
ジレニア ロイヤリティ	258	188	70	37.3	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	99	非開示	-	-	非開示	-	-
一般用医薬品	21	22	△ 1	△ 3.8	21	0	0.0
売上高合計	2,017	1,989	28	1.4	1,915	102	5.3

(注1) 2015年5月8日 2014年度決算発表時に公表した予想数値

(注2) テネリアについては、10月1日より、当社と第一三共による共同販売から第一三共による単独販売へと販売スキームが変更となりました。共同プロモーションは今後も継続いたします。スキーム変更に伴い、第一三共への販売額と同社から受け取るプロモーションフィーを合算し、当社のテネリア(新スキーム)売上高として開示いたします。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

	2015年度 第2四半期末	構成比%	2014年度末	増減額	主なポイント
総資産	9,209	100.0	9,293	△ 84	
流動資産	6,110	66.3	6,036	73	
現金及び預金	759	8.2	502	257	P7「② キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	1,110	12.1	1,188	△ 78	譲渡性預金の減少など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	1,291 (3.84)	14.0	1,303 (3.77)	△ 12 (0.07)	
たな卸資産	771	8.4	851	△ 80	
預け金	1,930	21.0	1,928	2	
繰延税金資産	78	0.8	83	△ 6	
その他	171	1.9	181	△ 11	
固定資産	3,099	33.7	3,257	△ 157	
有形固定資産	902	9.8	925	△ 23	設備投資 +46億円、減価償却 △36億円、 減損・除売却 △23億円など
無形固定資産	1,092	11.9	1,169	△ 77	情報システム開発投資 +5億円、減価償却 △8億円、 合併時のれん償却 △50億円など
投資有価証券	697	7.6	763	△ 66	社債の減少など
繰延税金資産	4	0.0	8	△ 3	
退職給付に係る資産	182	2.0	157	24	
その他	221	2.4	234	△ 13	
負債	1,032	11.2	1,289	△ 257	
流動負債	785	8.5	1,054	△ 269	
仕入債務(注2)	288	3.1	346	△ 58	
1年内返済予定の長期借入金	1	0.0	1	0	
未払金	159	1.7	254	△ 95	
未払法人税等	133	1.4	198	△ 64	
賞与引当金	100	1.1	100	0	
その他	104	1.1	155	△ 51	
固定負債	247	2.7	235	12	
長期借入金	8	0.1	9	△ 1	
繰延税金負債	116	1.3	98	18	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	17	0.2	17	-	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	25	0.3	27	△ 2	
HCV訴訟損失引当金	19	0.2	20	△ 2	
退職給付に係る負債	24	0.3	25	0	
その他	38	0.4	39	△ 1	
純資産	8,177	88.8	8,004	173	
株主資本	7,928	86.1	7,760	168	
資本金	500	5.4	500	-	
資本剰余金	4,512	49.0	4,512	-	
利益剰余金	2,921	31.7	2,753	168	親会社株主に帰属する四半期純利益 +291億円、 配当金支払い △123億円
自己株式	△ 5	△ 0.1	△ 5	0	
その他の包括利益累計額	136	1.5	130	6	
その他有価証券評価差額金	172	1.9	149	23	
繰延ヘッジ損益	0	0.0	1	△ 1	
為替換算調整勘定	△ 17	△ 0.2	1	△ 18	
退職給付に係る調整累計額	△ 19	△ 0.2	△ 22	3	
非支配株主持分	113	1.2	115	△ 1	

(注1) 売上債権＝受取手形＋売掛金 (注2) 仕入債務＝支払手形(除く営業外支払手形)＋買掛金

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2015年度上期	2014年度上期	増減額
現金・現金同等物期首残高	733	850	△ 116
営業キャッシュ・フロー	234	254	△ 19
税金等調整前当期純利益	431	464	△ 32
減価償却費	44	45	△ 1
減損損失	7	9	△ 2
のれん償却額	53	54	△ 1
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 24	△ 21	△ 3
受取利息及び受取配当金	△ 15	△ 12	△ 3
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	-	14	△ 14
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△ 6	6
固定資産除売却損益(△は益)	△ 2	△ 118	117
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 2	△ 11	8
売上債権の増減額(△は増加)	10	△ 33	43
たな卸資産の増減額(△は増加)	50	△ 40	90
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 57	△ 17	△ 40
未払金の増減額(△は減少)	△ 59	△ 13	△ 46
利息及び配当金の受取額	15	12	3
法人税等の支払額	△ 196	△ 97	△ 99
その他	△ 20	24	△ 44
投資キャッシュ・フロー	873	△ 73	946
有価証券の取得・売却等	608	△ 133	741
定期預金の預入・払戻	238	21	217
預け金の預入による支出	△ 2	△ 103	101
有形固定資産の取得・売却	△ 58	62	△ 120
無形固定資産の取得による支出	△ 7	△ 8	2
投資有価証券の取得・売却等	62	13	49
関係会社株式の売却による収入	-	76	△ 76
会社分割による収入	33	-	33
その他	△ 1	△ 1	0
財務キャッシュ・フロー	△ 109	△ 114	5
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△ 12	12
非支配株主からの払込みによる収入	16	11	5
配当金の支払額	△ 123	△ 112	△ 11
その他	△ 2	△ 1	△ 1
現金・現金同等物に係る換算差額	△ 5	7	△ 12
現金・現金同等物の増減額(△は減少)	993	74	920
現金・現金同等物期末残高	1,727	923	803

* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2015年度上期	2014年度上期
現金及び預金	759	241
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△ 15	△ 29
取得日から3ヵ月以内に償還期限が到来する有価証券	770	505
短期貸付金(注)に含まれる現金同等物	13	6
預け金に含まれる現金同等物	200	200
現金・現金同等物	1,727	923

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2015年度上期	2014年度上期	増減額	2014年度
設備投資額／発生ベース	46	62	△ 15	157
システム投資額／発生ベース	5	8	△ 3	16

2015年度上期の主な設備投資		2015年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	14億円	田辺三菱製薬	4億円
田辺三菱製薬工場	15億円		
(小野田工場注射剤再編工事)	(6億円)		
(吉富工場新製剤棟建設)	(1億円)		

④ 減価償却費

(単位:億円)

	2015年度上期	2014年度上期	増減額	2014年度
有形固定資産	36	37	△ 1	75
無形固定資産	8	8	0	16

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売	ミツピン タナベ ファーマ コリア	メディカゴ	天津田辺製薬	タナベ インドネシア
売上高	2015年度上期	148	66	24	2	25	8
	2014年度	394	136	44	11	45	23
	2014年度上期	191	64	21	9	21	16
営業利益	2015年度上期	18	△ 2	2	△ 27	2	△ 1
	2014年度	36	△ 1	2	△ 51	5	1
	2014年度上期	16	△ 1	2	△ 12	2	2
経常利益	2015年度上期	19	△ 2	2	△ 27	1	△ 1
	2014年度	36	△ 1	3	△ 52	5	1
	2014年度上期	17	△ 1	2	△ 13	3	2
親会社株主に 帰属する当期 純利益	2015年度上期	12	△ 1	1	△ 27	0	△ 1
	2014年度	7	△ 1	2	△ 53	3	0
	2014年度上期	13	△ 1	1	△ 14	2	1
研究開発費	2015年度上期	4	-	-	28	1	0
	2014年度	13	-	-	62	2	0
	2014年度上期	7	-	-	21	1	0
有形固定資産 減価償却費	2015年度上期	9	0	0	2	1	1
	2014年度	22	0	1	4	1	1
	2014年度上期	11	0	0	2	0	0
総資産	2015年度上期末	447	55	35	345	59	28
	2014年度末	482	60	37	356	61	31
	2014年度上期末	501	53	35	357	55	32
純資産	2015年度上期末	378	1	28	240	38	14
	2014年度末	369	3	30	242	39	17
	2014年度上期末	375	3	28	247	34	17
従業員数(人)	2015年度上期末	873	161	121	285	564	411
	2014年度末	1,087	168	121	263	537	441
	2014年度上期末	1,099	173	123	226	468	463

(注) 上記財務数値は内部取引消去前の数値です。

3 2015年度 業績予想について

(億円未満四捨五入)

① 損益予想

(単位:億円)

	2015年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較			主なポイント(前期比較)
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2014年度実績	増減額	増減率%	
売上高	4,180	3,960	220	5.6	4,151	29	0.7	海外売上高比率 2014年度:18.8% 2015年度予想:27.4% 計画為替レート 1US\$ = 120円
国内	3,034	3,015	19	0.6	3,372	△ 338	△ 10.0	
海外	1,146	945	201	21.3	779	367	47.1	
売上原価	1,500	1,470	30	2.0	1,696	△ 196	△ 11.6	血漿分画製剤の販売提携終了、 ロイヤリティ収入等の増収などによる 売上原価率改善
売上原価率	35.9%	37.1%			40.9%			
売上総利益	2,680	2,490	190	7.6	2,455	225	9.2	
販管費	1,860	1,815	45	2.5	1,784	76	4.3	
販管費比率	44.5%	45.8%			43.0%			
営業利益	820	675	145	21.5	671	149	22.1	
経常利益	810	670	140	20.9	677	133	19.7	
特別損益	△ 135	△ 75	△ 60	-	△ 50	△ 85	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	460	405	55	13.6	395	65	16.4	

② 売上原価／販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2015年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較			主なポイント(前期比較)
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2014年度実績	増減額	増減率%	
売上原価	1,500	1,470	30	2.0	1,696	△ 196	△ 11.6	
比率	35.9%	37.1%			40.9%			
販管費	1,860	1,815	45	2.5	1,784	76	4.3	
比率	44.5%	45.8%			43.0%			
研究開発費	760	740	20	2.7	696	64	9.2	
比率	18.2%	18.7%			16.8%			
研究開発費以外	1,100	1,075	25	2.3	1,088	12	1.1	
人件費	470	460	10	2.2	468	2	0.5	
のれん償却額	105	105	0	0.0	109	△ 4	△ 3.8	
その他	525	510	15	2.9	511	14	2.7	
総人件費	785	770	15	1.9	811	△ 26	△ 3.2	

(注1) 当社は2015年9月30日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 2015年5月8日 2014年度決算発表時に公表した2015年度業績予想数値

③ 主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2015年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較		
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2014年度実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	4,135	3,916	219	5.6	4,107	28	0.7
国内医療用医薬品	2,966	2,946	20	0.7	3,239	△ 274	△ 8.4
レミケード	677	707	△ 30	△ 4.3	706	△ 30	△ 4.2
タリオン	169	171	△ 2	△ 1.4	160	9	5.4
セレジスト	137	141	△ 4	△ 3.0	157	△ 20	△ 12.7
メインテート	132	132	0	0.2	141	△ 9	△ 6.5
シンボニー	126	133	△ 7	△ 5.5	105	21	20.2
テネリア(旧スキーム)(注3)	37	96	△ 59	△ 61.7	62	△ 26	△ 41.0
テネリア(新スキーム)(注3)	99	非開示	-	-	非開示	-	-
レクサプロ	104	105	△ 1	△ 0.5	80	25	30.9
クレメジン	91	93	△ 2	△ 2.6	105	△ 15	△ 14.0
ウルソ	84	88	△ 4	△ 4.7	100	△ 16	△ 16.0
デバス	70	68	2	2.7	81	△ 11	△ 13.4
アンブラーグ	64	58	6	9.5	83	△ 19	△ 23.4
ラジカット	62	54	8	15.1	74	△ 12	△ 15.8
ワクチン	326	269	57	21.3	303	24	7.9
インフルエンザ	112	79	33	42.0	74	38	51.9
テトラビック	74	71	3	4.3	75	△ 1	△ 1.6
水痘ワクチン	61	44	17	39.3	72	△ 10	△ 14.4
田辺製薬販売取扱品(注4)	140	144	△ 4	△ 2.7	136	4	3.0
海外医療用医薬品	252	244	8	3.4	230	22	9.6
ヘルベッサー	68	68	0	△ 0.2	65	3	4.8
アルガトロバン(ノバスタン)	28	25	3	11.8	21	7	31.3
タナトリル	17	17	0	0.8	18	△ 1	△ 6.5
製造受託品(注5)	21	24	△ 3	△ 14.3	34	△ 13	△ 39.0
ロイヤリティ収入等	896	702	194	27.7	604	293	48.5
ジレニア ロイヤリティ	非開示	非開示	-	-	439	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	非開示	-	-	98	-	-
一般用医薬品	41	40	1	2.7	40	1	2.8
売上高合計	4,180	3,960	220	5.6	4,151	29	0.7

(注1) 当社は2015年9月30日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 2015年5月8日 2014年度決算発表時に公表した2015年度業績予想数値

(注3) テネリアについては、10月1日より、当社と第一三共による共同販売から第一三共による単独販売へと販売スキームが変更となりました。共同プロモーションは今後も継続いたします。スキーム変更に伴い、第一三共への販売額と同社から受け取るプロモーションフィーを合算し、当社のテネリア(新スキーム)売上高として開示いたします。

(注4) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注5) 他社製品の製造受託品等

④ 設備投資／情報システム開発投資予想 (単位:億円)

	2015年度 通期予想	2014年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	111	157	△ 46	△ 29.5
システム投資額／発生ベース	16	16	0	0.9

2015年度の主な設備投資予定		2015年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	74億円	研究開発関係システム	7億円
（吉富工場新製剤棟建設）	(17億円)	生産関係システム	2億円
（小野田工場注射剤再編工事）	(16億円)	その他	7億円
研究開発関係設備	32億円		
その他	4億円		

⑤ 減価償却費予想 (単位:億円)

	2015年度 通期予想	2014年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	73	75	△ 2	△ 2.4
無形固定資産	15	16	△ 1	△ 3.3

4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度上期	2015年度予想
売上高	4,072	4,192	4,127	4,151	2,017	4,180
売上原価	1,523	1,664	1,694	1,696	732	1,500
売上総利益	2,549	2,528	2,433	2,455	1,286	2,680
販管費	1,858	1,838	1,842	1,784	850	1,860
研究開発費	702	665	704	696	333	760
営業利益	690	690	591	671	435	820
経常利益	688	694	619	677	433	810
特別利益	12	42	153	137	5	△ 135
特別損失	61	59	48	186	7	
親会社株主に帰属する当期純利益	390	419	454	395	291	460

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度上期末
総資産	8,199	8,668	8,865	9,293	9,209
流動資産	4,197	4,767	5,405	6,036	6,110
固定資産	4,003	3,901	3,460	3,257	3,099
負債	984	1,139	1,086	1,289	1,032
流動負債	696	861	818	1,054	785
固定負債	289	277	268	235	247
純資産	7,215	7,529	7,778	8,004	8,177

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度上期	2015年度予想
営業キャッシュ・フロー	372	606	699	682	234	-
投資キャッシュ・フロー	△ 632	△ 350	△ 243	△ 598	873	-
財務キャッシュ・フロー	△ 172	△ 237	△ 211	△ 219	△ 109	-
設備投資	71	92	126	157	46	111
情報システム開発投資	12	22	21	16	5	16
減価償却費	125	84	92	90	44	88
自己資本比率(%)	87.3	86.3	86.4	84.9	87.6	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.5	5.7	6.0	5.1	7.3	-
1株当たり当期純利益(円)	69.54	74.67	80.92	70.41	51.96	82.00
1株当たり純資産(円)	1,275.85	1,333.22	1,365.52	1,406.41	1,437.45	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度上期末	2015年度末予想
連結	9,180	8,835	9,065	8,457	8,212	8,202
単体	4,826	4,850	4,867	4,844	4,819	4,752

① 損益計算書

(単位:億円)

	2014年度					2015年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想	通期予想 (注)
売上高	946 22.8%	1,043 25.1%	1,209 29.1%	953 23.0%	4,151 100.0%	985 23.6%	1,032 24.7%	2,163 51.7%	4,180 100.0%
国内	798 23.7%	853 25.3%	986 29.2%	736 21.8%	3,372 100.0%	763 25.1%	746 24.6%	1,525 50.3%	3,034 100.0%
海外	148 19.0%	191 24.5%	223 28.7%	217 27.9%	779 100.0%	222 19.4%	286 25.0%	638 55.6%	1,146 100.0%
売上原価	392	390	498	416	1,696	355	376	768	1,500
売上原価率	41.4%	37.4%	41.2%	43.6%	40.9%	36.1%	36.5%	35.5%	35.9%
売上総利益	554 22.6%	653 26.6%	710 28.9%	538 21.9%	2,455 100.0%	630 23.5%	656 24.5%	1,394 52.0%	2,680 100.0%
販売費及び一般管理費	417 23.4%	441 24.7%	424 23.8%	502 28.2%	1,784 100.0%	402 21.6%	448 24.1%	1,010 54.3%	1,860 100.0%
研究開発費	163 23.5%	156 22.4%	162 23.2%	215 30.9%	696 100.0%	155 20.3%	178 23.4%	427 56.2%	760 100.0%
研究開発費以外	253 23.3%	285 26.2%	263 24.1%	287 26.4%	1,088 100.0%	248 22.5%	270 24.6%	582 52.9%	1,100 100.0%
人件費	111 23.8%	119 25.5%	118 25.2%	120 25.6%	468 100.0%	112 23.8%	118 25.1%	240 51.0%	470 100.0%
のれん償却額	27 24.7%	27 24.7%	27 24.7%	28 25.8%	109 100.0%	26 25.1%	26 25.0%	52 49.9%	105 100.0%
その他	115 22.6%	139 27.1%	118 23.1%	139 27.2%	511 100.0%	109 20.8%	126 24.0%	290 55.2%	525 100.0%
営業利益	137 20.4%	213 31.7%	286 42.7%	35 5.3%	671 100.0%	227 27.7%	208 25.3%	385 46.9%	820 100.0%
経常利益	146 21.5%	209 30.9%	286 42.3%	36 5.3%	677 100.0%	226 28.0%	207 25.5%	377 46.5%	810 100.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	96 24.3%	229 58.1%	158 39.9%	△ 88 △ 22.3%	395 100.0%	149 32.4%	143 31.0%	169 36.6%	460 100.0%

※ 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注) 2015年9月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した修正後の予想数値

② 主要製品売上高

(単位:億円)

	2014年度					2015年度			
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	下期予想	通期予想 (注1)
医療用医薬品	932 22.7%	1,033 25.1%	1,198 29.2%	944 23.0%	4,107 100.0%	972 23.5%	1,022 24.7%	2,141 51.8%	4,135 100.0%
国内医療用医薬品	775 23.9%	777 24.0%	968 29.9%	719 22.2%	3,239 100.0%	743 25.0%	731 24.6%	1,492 50.3%	2,966 100.0%
レミケード	173 24.6%	179 25.3%	193 27.3%	161 22.8%	706 100.0%	169 24.9%	176 26.1%	332 49.0%	677 100.0%
タリオン	33 20.3%	28 17.7%	43 26.6%	57 35.4%	160 100.0%	36 21.1%	29 17.0%	104 61.9%	169 100.0%
セレジスト	41 26.4%	38 24.0%	44 27.9%	34 21.7%	157 100.0%	39 28.4%	35 25.5%	63 46.1%	137 100.0%
メインテート	38 26.7%	34 23.9%	38 26.8%	32 22.6%	141 100.0%	37 27.9%	32 24.5%	63 47.6%	132 100.0%
シンボニー	25 23.5%	26 24.6%	29 27.9%	25 23.9%	105 100.0%	30 24.0%	32 25.1%	64 50.9%	126 100.0%
テネリア(旧スキーム)(注2)	11 17.9%	16 24.9%	19 30.6%	17 26.5%	62 100.0%	20 55.4%	17 46.3%	△ 1 △ 1.7%	37 100.0%
テネリア(新スキーム)(注2)	非開示 -	非開示 -	非開示 -	非開示 -	非開示 -	非開示 -	非開示 -	70 70.3%	99 100.0%
レクサプロ	17 21.1%	17 21.7%	27 34.3%	18 22.9%	80 100.0%	21 20.5%	22 21.5%	61 58.0%	104 100.0%
クレメジン	28 26.6%	26 24.9%	28 26.8%	23 21.8%	105 100.0%	25 27.8%	23 25.4%	42 46.8%	91 100.0%
ウルソ	27 26.7%	24 24.2%	27 27.0%	22 22.1%	100 100.0%	24 28.3%	20 24.2%	40 47.5%	84 100.0%
デパス	21 25.9%	20 24.9%	22 27.1%	18 22.2%	81 100.0%	19 27.8%	18 25.4%	33 46.8%	70 100.0%
アンブラーグ	24 28.7%	20 23.9%	22 27.0%	17 20.5%	83 100.0%	19 30.1%	16 24.4%	29 45.5%	64 100.0%
ラジカット	20 26.7%	18 24.7%	21 28.3%	15 20.3%	74 100.0%	17 26.7%	18 28.5%	28 44.8%	62 100.0%
ワクチン	49 16.2%	62 20.4%	148 48.8%	44 14.5%	303 100.0%	63 19.3%	82 25.1%	181 55.6%	326 100.0%
インフルエンザ	△ 1 △ 0.7%	9 12.7%	73 99.3%	△ 8 △ 11.3%	74 100.0%	0 △ 0.3%	28 25.0%	84 75.3%	112 100.0%
テトラビック	18 23.6%	18 23.7%	21 28.2%	18 24.4%	75 100.0%	19 26.1%	17 23.3%	38 50.7%	74 100.0%
水痘ワクチン	6 8.7%	13 18.2%	35 48.8%	17 24.3%	72 100.0%	18 29.2%	15 25.2%	28 45.7%	61 100.0%
田辺製薬販売 取扱品 (注3)	34 24.8%	31 22.5%	39 28.6%	33 24.0%	136 100.0%	34 24.3%	32 22.8%	74 52.8%	140 100.0%
海外医療用医薬品	53 23.0%	60 26.3%	55 23.7%	62 27.1%	230 100.0%	62 24.5%	81 32.0%	110 43.5%	252 100.0%
ヘルベッサー	16 24.4%	19 29.1%	14 22.3%	16 24.2%	65 100.0%	15 22.1%	16 23.6%	37 54.2%	68 100.0%
アルガトロバン (ノバスタン)	7 32.5%	6 26.5%	5 22.9%	4 18.1%	21 100.0%	5 17.0%	11 39.3%	12 43.7%	28 100.0%
タナトリアル	5 24.7%	6 31.4%	4 21.8%	4 22.1%	18 100.0%	5 26.6%	4 22.4%	9 51.0%	17 100.0%
製造受託品(注4)	9 27.0%	12 34.6%	5 15.1%	8 23.2%	34 100.0%	6 27.6%	5 23.6%	10 48.8%	21 100.0%
ロイヤリティ収入等	95 15.7%	184 30.4%	170 28.2%	155 25.7%	604 100.0%	162 18.1%	206 23.0%	529 59.0%	896 100.0%
ジレニア ロイヤリティ	77 17.6%	111 25.3%	137 31.1%	114 26.0%	439 100.0%	112 -	146 -	非開示 -	非開示 -
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示 -	非開示 -	非開示 -	36 37.3%	98 100.0%	46 -	54 -	非開示 -	非開示 -
一般用医薬品	12 30.4%	10 24.2%	10 24.9%	8 20.4%	40 100.0%	12 28.4%	9 22.7%	20 48.9%	41 100.0%
売上高合計	946 22.8%	1,043 25.1%	1,209 29.1%	953 23.0%	4,151 100.0%	985 23.6%	1,032 24.7%	2,163 51.7%	4,180 100.0%

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 当社は2015年9月30日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) テネリアについては、10月1日より、当社と第一三共による共同販売から第一三共による単独販売へと販売スキームが変更となりました。共同プロモーションは今後も継続いたします。スキーム変更に伴い、第一三共への販売額と同社から受け取るプロモーションフィーを合算し、当社のテネリア(新スキーム)売上高として開示いたします。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2015年10月30日現在)

1. 新規薬剤

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	
TA-650 (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病、潰瘍性大腸炎、小児・クローン病、小児・ 潰瘍性大腸炎)	台湾	申請中 (2013年9月)	米:ヤンセン・ バイオテック	
TA-7284 (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	台湾	申請中 (2015年3月)	自社	
MP-513 (テネリグリプチン臭化水素 酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請中 (2015年4月)	自社	
		欧州	フェーズ 2		
		米国	フェーズ 1		
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	韓国	申請中 (2015年6月)	自社	
MT-2412 (テネリグリプチン臭化水素 酸塩水和物、カナグリフロジ ン水和物)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本	フェーズ 3	自社	
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドバミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本、アジア	フェーズ 2b/3	ハンガリー: ゲデオニヒター	
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	日本	フェーズ 2	米:フォーラム ファーマシューティ カルズ	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社	
		日本	フェーズ 2		
		米国	フェーズ 1		
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社	
		(乾癬)	欧州		フェーズ 2
		(クローン病)	日本、欧州		フェーズ 2
		(炎症・自己免疫疾患)	日本、欧州、米国		フェーズ 1
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン (小児のHib感染の予防)	日本	フェーズ 2	米:ニューロン バイオテック	
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社	
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、カナダ	フェーズ 2	自社	
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社	
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	米国	フェーズ 1	自社	
MP-124	神経系用剤	米国	フェーズ 1	自社	
MP-157	循環器官用剤	欧州	フェーズ 1	自社	
MT-0814	眼科用剤	日本	フェーズ 1	自社	
MT-8554	神経系用剤 等	欧州	フェーズ 1	自社	

*希少疾病用医薬品指定

2. 効能追加

製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (難治性川崎病*)	日本	申請中 (2015年5月)	米:ヤンセン・ バイオテック	
	(乾癬:用法・用量の変更 [増量])		申請中 (2015年7月)		
	(小児・クローン病)		フェーズ 3		
	(小児・潰瘍性大腸炎)		フェーズ 3		
トリビック (沈降精製百日せき ジフテリア破傷風混合 ワクチン)	ワクチン・トキソイド混合製剤 (百日せきジフテリア破傷風感染予防; 2期接種)	日本	申請中 (2015年4月)	日:一般財団法人 阪大微生物病研究会	一般財団法人阪大 微生物病研究会と 共同開発
テラピック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (O型慢性肝炎[フェロン併用])	日本	フェーズ 3	米:ヴァーテック スファーマシュー ティカルズ	
イムセラ (フィンゴリモド塩酸 塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	自社	日本はノバルティス ファーマと共同開 発 海外はノバルティス に導出
カナグル (カナグリフロジン水和 物)	SGLT2阻害剤 (糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ 3	自社	治験依頼者:ヤン センリサーチ アンド デベロップメント

*希少疾病用医薬品指定

3. 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先 (備考)
TA-7284 (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	米国	フェーズ 3	米:ヤンセンファーマシューティカルズ
	(糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ 3	
	(1型糖尿病)	米国、カナダ	フェーズ 2	
	(肥満・フェンテルミンとの併用)	米国	フェーズ 2	
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	スイス:ノバルティス (日本は、当社とノバルティスファーマの共同開発)
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 2	日:マルホ
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	韓:サムファーマ
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 2	日:協和発酵キリン
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (うつ病)	欧州	フェーズ 2	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ	フェーズ 2	米:メルク
sTU-199 (テナプラゾール)	消化器官用剤	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シテム)

*選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ α 1Aと α 1Bアドレナリン受容体の調節

4. 2015年度第1四半期決算発表時点(2015年7月31日)からの変更点

① 自社開発品

治験コード／製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2015年10月30日現在
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (腸管型・神経型・血管型ベーチェット病 ^{*1})	日本	申請中 (2014年10月)	承認 (2015年8月)
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	日本	フェーズ 3	フェーズ 2 ^{*2}

*1:希少疾病用医薬品指定

*2: 日本における国際共同フェーズ3試験の中止の為

② 導出品

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2015年10月30日現在
TA-8995	CETP阻害剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ 2	削除*

*アムジェン/デジマへの特許・ノウハウ譲渡の為

5. 新製品開発状況補足資料(2015年10月30日現在)

① 新規薬剤

治験コード(一般名)	補足説明
TA-650 (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。日本では、製品名レミケードで2002年に発売。
TA-7284 (カナグリフロジン水和物)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。日本では、製品名カナグルで2014年9月に発売。
MP-513 (テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物)	DPP-4阻害剤。食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない2型糖尿病治療剤。日本では、製品名テネリアで2012年9月に発売。
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去作用を有する。日本では、製品名ラジカットで、2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。2015年6月に筋委縮性側索硬化症(ALS)における機能障害の進行抑制の適応も取得。
MT-2412 (テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物、カナグリフロジン水和物)	テネリグリプチン(DPP-4阻害剤)とカナグリフロジン(SGLT2阻害剤)の合剤。
MP-214 (カプリジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト。統合失調症の陽性症状に加え、陰性症状や認知機能障害にも効果が期待される。ゲデオンリヒター(ハンガリー)より導入。
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤。アセチルコリンおよびグルタミン酸シグナル伝達を賦活化させることにより、認知機能を改善。フォーラムファーマシューティカルズ(米)より導入。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。腎保護作用を示す。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制し、自己免疫反応を抑制する。イムセラ/ジレニアの後継品。
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン。ニューロンバイオテック(米)より導入。小児のHibによる侵襲性感染症の予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H5N1]の予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。季節性インフルエンザの予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H7N9]の予防。

② 効能追加

製品名(一般名)	補足説明
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。日本で、2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎、腸管型・神経型・血液型ベーチェット病の治療剤としての適応も取得。
トリビック (沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン)	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン。百日せきジフテリア破傷風の予防[2期接種]を適応に、一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発。
テラビック (テラプレビル)	日本で、2011年にジェノタイプ1のC型慢性肝炎治療剤として発売。2014年9月にジェノタイプ2に対する効能追加を日本で取得。
イムセラ (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制することで免疫調整作用を発揮し、多発性硬化症におけるミエリンの破壊(脱髄)を防止する。国内ではノバルティスファーマと共同で開発し、2011年に多発性硬化症治療薬として発売。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎でフェーズ3(国際共同試験)。日本ではノバルティスファーマとの共同開発。
カナグル (カナグリフロジン水和物)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。日本では、2型糖尿病を対象に2014年9月に発売。製品名 INVOKANA [®] としてヤンセンファーマシューティカルズが米国で、また、その関係会社が欧州で販売中。

③ 導出品

治験コード (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン水和物)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病を対象に製品名INVOKANA [®] としてヤンセンファーマシューティカルズが米国で、また、その関係会社が欧州で販売中。メトホルミンとの合剤[即放性製剤]は欧州で2014年4月に承認を取得、米国では2014年8月に承認を取得した。
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。多発性硬化症治療薬として日本では、製品名イムセラで販売中。ノバルティスが日欧米で製品名ジレニアで販売中。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。
TA-7906	外用PDE4阻害剤。
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤。
MT-4580	カルシウム受容体作動剤。
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用(選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ α 1Aと α 1Bアドレナリン受容体の調節)。
Y-803	BRD-ヒストン結合阻害剤。

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2015年度上期末	2014年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	27	28	△ 1	減少)タナベU.S.A.
非連結子会社数	-	1	△ 1	減少)タナベセイヤクマレーシア
関連会社数	1	1	-	
合計	28	30	△ 2	

② 連結子会社一覧

(2015年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	パイファ	100百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
4	田辺製薬吉城工場	400百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
5	田辺製薬販売	169百万円	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
6	田辺アールアンドディー・サービス	44百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
7	田辺総合サービス	90百万円	100.0 (—)	3月末	不動産の管理、宣伝物制作等
8	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
9	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
10	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
11	タナベ リサーチ ラボラトリーズ アメリカ	USD 3,000,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
12	MTPC ホールディングス カナダ	CAD Mn 267	100.0 (—)	3月末	メディカゴグループへの投資
13	メディカゴ	CAD Mn 295	60.0 (56.2)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
14	メディカゴ U. S. A.	USD 99	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの製造
15	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの研究開発
16	田辺三菱製薬研究(北京)	USD 1,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
17	天津田辺製薬	USD 16,230,000	75.4 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
18	広東田辺医薬	CNY 7,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の販売
19	台湾田辺製薬	TWD 90,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
20	台田薬品	TWD 20,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
21	タナベ インドネシア	USD 2,500,000	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
22	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
23	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4,632,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
24	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムペーハー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

(注)上記以外に清算手続中の連結子会社が3社あります。

③ 持分法適用関連会社一覧

(2015年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2015年9月末	2015年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	428,692	428,340
期末発行済株式数	560,989,224	560,989,576
期中平均自己株式数	428,530	427,456
期中平均株式数	560,989,386	560,990,460

② 大株主の状況

順位	株主名	2015年9月末		2015年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	26,077	4.64%	2	24,137	4.30%
3	日本生命保険	12,065	2.15%	3	12,065	2.15%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	9,906	1.76%	4	10,669	1.90%
5	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	5	7,254	1.29%
6	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	5,685	1.01%	6	5,488	0.98%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	4,932	0.88%	12	3,449	0.61%
8	田辺三菱製薬従業員持株会	4,317	0.77%	7	4,505	0.80%
9	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	4,311	0.77%	10	3,635	0.65%
10	ニプロ	3,821	0.68%	9	3,821	0.68%

③ 所有者別株式数分布状況

	2015年9月末			2015年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	76	100,523	17.91%	75	98,321	17.52%
外国法人等	481	99,290	17.69%	465	100,650	17.93%
個人・その他(注)	14,023	23,752	4.23%	13,972	24,578	4.38%
その他の法人	240	334,404	59.58%	251	334,680	59.62%
金融商品取引業者	35	3,344	0.60%	34	3,083	0.55%
合計	14,855	561,315	100.00%	14,797	561,315	100.00%
単元未満株式の状況	-	102	-	-	102	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2015年9月末428千株、2015年3月末428千株)を含んでおります。

④ 配当金／株価推移

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度上期	2015年度予想
1株当たり年間配当金(円)	35	40	40	42	22	44
配当性向(%)	50.3	53.6	49.4	59.6	-	53.7
(のれん償却前)	(40.0)	(43.2)	(40.5)	(47.6)	(-)	(44.1)
期末株価(円)	1,161	1,445	1,443	2,062	2,105	-
株式時価総額(億円)	6,518	8,112	8,101	11,576	11,818	-

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける用法・用量の変更が、2011年8月にクローン病における用法・用量の変更がそれぞれ承認された。2012年4月より、4回目の投与からは安全性に問題がなければ、従来の2時間よりも短い時間で点滴することが可能となった(投与量により点滴時間は異なるが、平均速度が1時間あたり5mg/kgを超えない投与速度までの短縮が可能)。</p> <p>既存治療で効果不十分な腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病を適応として2015年8月に承認を取得した。難治性川崎病を適応として2012年9月にオーファンドラッグに指定され、2015年5月に川崎病を適応として申請。乾癬の用法・用量の追加(増量)について2015年7月に申請した。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得した。</p> <p>オリジン:宇部興産</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈・慢性心不全治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月に「慢性心不全」、2013年6月に「頻脈性心房細動」の効能をそれぞれ追加。</p> <p>オリジン:(ドイツ)メルクセローノ</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗ヒTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)であり、現在ヤンセンファーマにて潰瘍性大腸炎に対する臨床試験を実施中である。(ヤンセンファーマとの共同販売)</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトントランスポーターに高い選択性を持つSSRIで、世界98か国の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。社会不安障害(SAD)を適応として2014年11月に申請した。</p> <p>オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬株式会社</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。</p> <p>オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。</p>			

デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩解作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。			
アンプラグ	1993年10月発売	薬効	5-HT2ブロッカー(抗血小板剤)
閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスキャベンジャー(脳保護剤)
我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスキャベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に承認を取得した。			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			

ニュースリリース

2015年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2015年 4月1日	VMAT2阻害剤「NBI-98854」のライセンス契約締結について
4月27日	～330年を超える社業のあゆみや収蔵品を一般公開～ 田辺三菱製薬史料館 開館およびご来館予約受付開始のお知らせ
5月15日	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」 川崎病に関する適応追加の申請について
5月21日	平成27年度全国発明表彰「発明賞」を受賞 「糖尿病治療薬テネリグリプチンの発明」
5月22日	グローバルヘルス技術振興基金のスクリーニング・プログラムを通じた化合物ライブラリーの提供 一開発途上国に蔓延する感染症の治療をめざして
5月26日	アレルギー性疾患治療剤「タリオン錠」「タリオンOD錠」 小児適応追加の国内における承認取得について
6月18日	ジェネリック医薬品の新発売に関するお知らせ
6月26日	筋萎縮性側索硬化症(ALS)に関する一部変更承認取得 「ラジカット注30mg」「ラジカット点滴静注バッグ30mg」
7月10日	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」 乾癬における用法・用量の一部変更申請について
8月3日	過敏性腸症候群(IBS)の再発症状改善薬「セレキノンS」(OTC医薬品) 8月3日から全国で販売開始
8月17日	ジェネリック医薬品の製造販売承認取得に関するお知らせ
8月24日	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」 腸管型・神経型・血管型パーチェット病の承認取得について
9月1日	乾燥性皮膚治療薬「メディスキンコートf」(OTC医薬品) 9月10日に新発売
9月9日	自己免疫疾患治療剤MT-1303に関するバイオジェン社とのライセンス契約締結について
9月15日	新規アルツハイマー型認知症治療剤 MT-4666 日本における国際共同第3相試験の中止について
9月15日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」 2016年度助成募集のお知らせ
9月17日	脂質異常症治療剤(CETP阻害剤)「TA-8995」に関する、日本およびアジアの一部を除く全世界における特許・ノウハウの譲渡について
9月24日	メディムーンと田辺三菱製薬およびタナベリサーチ ラボラトリーズ アメリカのがん治療における抗体薬物複合体の共同研究およびライセンス契約締結について
10月2日	抗NGF抗体「ファシヌマブ」 独占的開発・販売権に係る協業契約締結について